

新世紀企画
PGの展望

IPGA NEWS



31

INTERNATIONAL PARK GOLF ASSOCIATION

(NPO)国際パークゴルフ協会 北海道中川郡幕別町錦町66番地2
☎(0155)54-2260・☎54-2204

2001. 2. 1 発行

Welcome to 21th Century



新世紀 パークゴルフの楽しさ広がる
変わらぬ「遊びごころ」を伝える時代に

(NPO) 国際パークゴルフ協会

理事長 前原 懿 (あつし)

二十一世紀こそ

パークゴルフの発展のキーワードは

「楽しさの共有」

新しい世紀の幕が上がりました。みなさんお元気で過ごしたことが推察いたします。みなさんにとって昨年はどんな一年だったでしょうか。そして今年はどうな年にしたかとお考えでしょうか、お互い充実した時を過ごしたいものです。今年もよろしくお願いたします。

さて、パークゴルフは昭和五十八年（一九九三）に発祥して十九年目の今年、新しい世紀を迎えました。振り返ってみると幕別町の公園（現：つつじコース）で生まれ、やっと歩きはじめた昭和六十二年（一九八七）には国際パークゴルフ協会が設立され、以来急速に普及発展を続けて今日に至りました。

現在、愛好者の数は50万人に達しているものと推定していますが、IPGAの組織としては会員（加盟団体）が、正会員（愛好者団体）337、賛助会員（企業等）56、公認指導員約三千人、アドバイザー約八千人を数え、コースは約800コース（うち公認コース136コース）など、また、海外8ヶ国にも紹介あるいはコースが出来て、特に南米では日系人を中心に愛好者が増えています。

こうした発展の状況はこれからも続くものと思いますが、二十一世紀という節目を迎えるに当たって私達は、過去を謙虚に振り返り、パークゴルフの誕生

IPGA 20世紀のあゆみ

- 1983 (昭和58年) 前原誌(幕別町教育委員会教育部長)の発想でパークゴルフの原型が生まれる。幕別町運動公園(現・つつじコース)に7ホールのコースを造る
- 1984 (昭和59年) 運動公園の7ホールを拡張して、14ホールに拡張する
- 1985 (昭和60年) グラウンドゴルフ振興会議発足(幕別町・教育委員会の内部組織) つつじコース18ホールを振興会議のメンバーにより設置し、オープンする
- 1986 (昭和61年) グラウンドゴルフを「パークゴルフ」と改名
幕別町開基90年記念事業実行委員会が「パークゴルフチャレンジ90」を開催
十勝管内の体育関係者を対象に「指導者養成講習会」を開催(参加者100名)
- 1987 (昭和62年) 国際パークゴルフ協会設立総会開催
第1回パークゴルフ国際大会(フリス・トスホ・ツ杯)つつじ・サーモンコースで開催(7ヶ国195名が参加)
パークゴルフ普及用ビデオが完成
- 1988 (昭和63年) 初の公認指導員・アドバイザー認定講習会を開催
スティックをクラブと改名。公認の新製品が発売される
- 1989 (平成元年) はまなす国体おおいにスポーツ賞の「スポーツ百選」を受賞
「現代用語の基礎知識」にパークゴルフが載る
- 1990 (平成2年) 十勝管内のパークゴルフ場が71ヶ所になる
- 1991 (平成3年) パークゴルフ指導書作成
ふるさと創生事業で、サーモンコースにクラシックなホール表示板設置
サーモンコースに夜間照明完成
生涯スポーツコンベンション(主催・文部省)92で「パークゴルフの開発をとおしての町づくり」を発表
英語版パークゴルフ指導書作成
発祥の地「つつじコース」に発祥の碑建立
(財)日本レジャースポーツ振興協会がサーモンコースで運動負荷調査を実施、生涯スポーツに最適との結果出る
「パークゴルフと健康に関する調査」を実施
- 1993 (平成5年) 英語版パークゴルフ普及用ビデオ完成
道民スポーツ夏期大会の種目となる
国際協会編集 書籍「パークゴルフ」を北海道新聞社より出版
幕別町がパークゴルフ発祥10周年式典を開催
「クマガラハウス」オープン
「地域づくり優良事例」北海道知事賞を受賞
- 1994 (平成6年) 第1回パークゴルフ全国大会を開成町で開催
2000年富山国体でパークゴルフがデモ競技に決定
読売新聞北海道支社「北のくらし大賞」の大賞受賞
- 1995 (平成7年) 第1回JALカップ全日本PG選手権開催大会の様相をUHFが1時間番組で放映
初の海外ツアー「ハワイ親善大会」を開催
- 1996 (平成8年) 豪日スポーツ教育協会職員マイク・ダーシーさんとジョアンナ・デービスさんが、オーストラリア・キャンベラから、大会運営やコースを視察
第1回パークゴルフネットワーク会議開催(幕別町)参加自治体:富山県小杉町・宮城県田尻町・神奈川県開成町・石川県椒上町・北海道幕別町
オーストラリア首都キャンベラで初の交流親善大会開催
第1回さくらカップ開催される(田尻町)
- 1997 (平成9年) 国際パークゴルフ協会設立10周年記念事業おこなわれる
オーストラリアマスターズにパークゴルフ、デモ競技として参加
- 1998 (平成10年) 国際協会事務所が幕別町錦町66番地2に移転し、独立した事務所となる
第1回日本海カップ開催(石川県)
第1回小杉カップ開催(富山県)
- 1999 (平成11年) 理事会において、新会長にパークゴルフの生みの親である前原誌氏を選出
特定非営利活動法人の設立を目指しその準備に関する事務手続きを常任理事会に一任
南米大陸にパークゴルフ人気が広がる
「特定非営利活動法人 国際パークゴルフ協会」として北海道知事より認証される
法人登記を済ませ「特定非営利活動法人 国際パークゴルフ協会」として法人格を取得
2000年とやま国体夏季大会にパークゴルフがデモレクレーション・スポーツとして参加
全国スポーツレクレーション祭2000年全国交流根上大会開催



にまつわる思想を再確認し、その原点を忘れないようにしたいものです。

それは「指導書」の巻頭にある①自然を大切に②3世代(多世代)交流のスポーツ③安全で楽しいスポーツの3点に言い尽くされていますが、愛好者はどんな場合でも自分を律することが大切で、それが自身の楽しさとして返ってくるのだということを理解しなければなりません。

競技としてのレベルがより高くなることは、スポーツとしてあるべき進歩ですが、日常生活にちよっとした潤いを求めて楽しむパークゴルフファンが大多数であることを忘れてはなりません。IPGA各支部、傘下各協会役員・指導者をはじめプレイヤーのみなさんが、地域のそうした愛好者との距離を近くに保ち、お互いパークゴルフの楽しさを共有していくことが、パークゴルフのさらなる発展につながっていくものと思います。

今年IPGAがNPO法人として実質的スタートの年です。間もなく所定の会議などを経て事業計画・予算が決まります。これまで実施してきた事業を継続していくことは当然のことですが、パークゴルフ新世紀の幕開けにふさわしい事業を展開していくことも考えています。

コースは楽しい社交場です。そして二十一世紀こそパークゴルフ発展のキーワードは「楽しさの共有」です。

生活革命の世紀

自然と遊ぶ

国際田園研究所所長

峯浦 耘蔵 さん



（プロフィール）
大正12年宮城県田尻町生まれ。15年間の教員生活を経て、昭和35年より農業に従事。50年には田尻町長に就任し、ユニークな施策を實行。平成3年には加護坊山にパークゴルフ場をオープンする。
平成7年町長を勇退後、国際田園研究所を開設した。9年IPGA設立10周年記念式典で講演も。

仙人道場 加護坊山パークゴルフ

20世紀の変化は余りにも大き過ぎた。戦争が繰り返され、貧困に耐えながら、生きつづけた人類の歴史でもある。敗戦は日本をおおきく変え、人の心も変えた今、自然公園で親しんでいる東北の聖地、加護坊山も、戦後、ゴミの山に変わりつつあ

た。モトクロスでオートバイが駆け巡り、三千頭の養豚場で糞尿が臭い、隣接町村のゴミ処理場まで建設された。

自然公園として復活を願う運動は年々広がり、隣接町村の境を越えて公園を計画、滞在型の施設を選択していた。それは世代を超えて親しめ、継続できる魅力、健康が自然と作られる成果を期待していた。その時、幕別のパークゴルフに出会ったのである。自然をそのままに活用でき、ゴルフが牧夫の玉遊びから生まれたロマンに結びついた。

パークゴルフは生活革命

古川からおいでの奥さんから

「主人は眼科、自分は膝で整形外科へ医者通いをしていた。加護坊山に来て見て気持ちがいいので回を重ねているうちに、身体の調子が良くなり、いま二人で山に来ることが楽しくなりました」と、医者には行かないで暮らしていた。身体は適度に動かすことで知らずに健康づくりにつながるものなのです。
貯金を頼りにした、20世紀の老後の支えは不安であるが、パークゴルフで作る筋力の「貯筋」は、不安なく貯まり、健康な生活に誘導される。6年前、成人病から、生活習慣病に変わり、健康な生き方の生活が始まる。「貯筋」へと、「転ばぬ先の杖」に変える時代を迎えた。

生き方を変えた20世紀

学んだことのたった一つの証は、「変化」である。
20世紀の変化は世界的大変化で、根本から変わった。日本は、国民の50パーセントが高脂血症（肥満など30%）
糖尿病慢性疾患（20%）など、国民に広く慢性
疾病が広がって
いて、21世紀は
さらに少子高齢
化を迎え、その
生き方を学ぶこ
とになる。



なだらかな傾斜に桜が満開となる加護坊山(さくらカップの大会風景)

血液のさらさらを続ける

生きることは「書くことと、あるくこと」といわれ出した。身近な生き方に「あるく、あおもの あんみん」の生活がある。それを支える心臓は一日10万

回、血液は一分間に5リットル心臓からでてゆき、かえってくる。血液をさらさらにすることは、食べ物、気分、運動、環境にも左右される。足は第二の心臓といわれる足腰は脳の働きにも影響があるとも言われ出した。この足腰を一番使う運動は、ゴルフである、ゴルフもパークゴルフも、プレーの間は、楽しく続けられ、足腰をねじる運動として共通する点が多い。

再考!

誰でもできるパークゴルフ

加護坊山にパークゴルフが無かったら、こんなに自然に親しめなかっただろう。パークゴルフは「美感遊創」のくらしを教えてくれた。一日三百円で遊べるし、友達はできる、また行きたい気分が癒しの応えられない体験である。

介護保険の不安の中で、喜ばれる年の取り方ができる。連れ合いの無い夫婦が、意気投合して継続できるのも自然の懐の大きさである。「保険」に頼るより「保健」で欲ぶ生活を求めた。

欲を言えば、生理習慣「はく出す 捨てる」の三つが欲しい。はくは呼吸の呼であって深呼吸、出すことは、糞、尿、汗など出るように動く、捨てることは、身体のために必要な物は全て捨てることである。血液のさらさらを続ける生理習慣、パークゴルフの生活習慣は、宇宙規模で呼びかけ、パークゴルフ人類で21世紀の平和を築く夢を共有して見たい。

て 迎えて

<上>

新世紀を

病院に手造りのパークゴルフ場

病院の敷地内にパークゴルフ場を造ってから、今年で7年目を迎えます。

コース造りを手掛けた頃は、病院の所在する恵庭市では、まだパークゴルフ場が設置されておらず、現在のように手軽に楽しめる環境には無かった頃だと思います。

治療の一つとして行われる精神科作業療法の中で、花壇や小農園を作る園芸作業を行いながら、「憩いの場」として芝生があってもいいね」の患者さん一言から、雑草地を毎日鍬で耕し、芝生の種を蒔く作業が数ヶ月間に渡って行われました。

その作業の結果が実り、翌年には雑草混じりながら、病院の回り一面には緑の絨毯が完成したのです。

一昨年逝去した横濱前理事長が、その時、患者さんにゴルフの打ちっ放しでもさせてあげたいねと話が出た時に思い浮かんだのが、併設の介護老人保健施設の敷地を含め、コースは短いながらも27ホールになり、昨

医療の現場で一躍を担う パークゴルフの効果



医療法人盟協会 島松病院
介護老人保健施設「アトライフ恵庭」
事務局長 武田 豊美 さん

プロフィール
昭和27年北海道余市町生まれ。京都産業大学卒。登別・北広島市内の病院勤務を経て、59年より島松病院に勤務。平成8年より医療法人盟協会理事、現職を兼務。現在、精神障害者の社会復帰のため環境造りと痴呆法人グループホームの設立に向けて取組中。好きな言葉は「不言実行」。

だのがパークゴルフでした。以前、函館市で開催された全国レクリエーション大会の会場前庭で、幕別町から普及にいられたパークゴルフを初めて紹介していただき、ゴルフが下手な私でも、これはいけるかなと自分なりに納得していたことを思い出したのです。

早速、ピンやカップ等の用具の調達先を幕別町に相談し、とありあえず9ホール分を準備し、あとはスコップ片手のコース造りで、何とかパークゴルフ場らしきものが完成です。その時、一番喜んだのは患者さんじゃなくて、きっと私だったと思います。

現在、併設の介護老人保健施設の敷地を含め、コースは短いながらも27ホールになり、昨

年芝刈り機を1台増車し、夏場はデスクワークを忘れコース整備に励んでいます。

このように、私達の病院のパークゴルフ場は完成したのですが、当時、クラブも簡単に手に入らなかった頃で、町内会のレクリエーションや、各団体からも利用申込やクラブの貸出し依頼を随分受けたものでした。

治療の一貫としても導入

病院では、人との交わりが苦手な患者さんの治療の一貫としてパークゴルフを導入したわけですが、故横濱前理事長が先頭になり、プレー前の挨拶から、マナー・ルールの指導をしているのが思い出されます。



病院内で大会開催。和気あいあいと楽しむ姿がみられる。

毎年、春秋に開催される院内大会では、ホールインワンが連発するなど、和気あいあいとした雰囲気の中、新鮮な空気を一杯に吸い込み、心地よい汗を流し、マイペースでプレイしながらもパートナーとの調和を図ることができるようになるなど、パークゴルフは当院での精神科治療の一躍を担っている

なかでも、地元町内のご婦人のグループは午前中の家事を終えてから、毎日のように弁当持参でお見えになり、それがご縁で施設のボランティア活動に今でも参加していただいている方もいらっしゃるようです。また、ある日、車椅子の高齢者が息子さんご夫妻に付き沿われ、コースを回るほほえましい姿を見かけました。

パークゴルフが織り成す出会い・ふれあいは、思いやりの心をはぐくむストローク。21世紀を迎えて更に加速する少子高齢化の中、その輪がもっと膨らむことができればと素晴らしいですね。

地域に解放、交流の輪ひろがる

昨年は、パークゴルフの専門誌や新聞紙上で紹介されたこともあってか、恵庭市内はもとより、札幌市からもプレーにお見えになられる方がいらっしやいました。

のと思っています。
また、施設の高齢者の中には自分専用のクラブを用意し、お天気の日には、体力に合わせラウンドし、リハビリを行っています。



20世紀を 締めくくるPGに

富山県新湊市では 女たちの熱き戦いに
男性陣が厚きもてなし

2000年 富山県レディース チャンピオン決定戦



男性陣の”かにつくし”のもてなしが、大会を一層盛り上げた

富山県下の女性精鋭パークゴルファーが参集し、10月29日富山県レディースの2000年チャンピオン決定戦が行われ熱い戦いが展開されました。男性協会員の厚いもてなしで地元特産の「にぎりずし」と「ずわいがにの味噌汁」が提供され選手一同美味しく堪能されました。また、参加賞にもかに2匹が渡されおみやげとなりました。県の女性チャンピオン決定戦は昨年より開催され勝者には県支部長名でチャンピオン認定証が渡されました。

新湊市PG協会 中野吉明さん報告

【大会結果】

- ①福田文子（大島町）112
- ②石灰みつ（新湊市）119
- ③川田通子（富山市）119
- ④安達佐智子（下村）120
- ⑤高浪邦子（小杉町）120



優勝の福田文子さん

新世紀を祝う カウントダウン初打ちPGも

沖縄県名護市

カヌチャゴルフコース



年越しを楽しく過ごす
初打ちのウレシさを
朝から大会も開催
元日のゴルフ大会も
朝からプレイ！

冬でもパークゴルフが
楽しめる沖縄。新春を祝
う交流大会に参加者の笑
みがこぼれる



第5回PG東北交流大会 相馬松川浦カップ



の視線集まる

「さあ、一打目」出場者
うつくしま未来博記念事業の第5
回パークゴルフ東北交流大会が11月
25、26日の2日間、相馬市松川浦P
G場で開催された。東北6県から男
女143人、地元相馬市からは48人
が出場。2日間36ホールのスコアを
競い合い男子の部は、地元の利を生
かし、山下要一さんが優勝、女子の
部は宮城県勢2人がプレーオフに臨
み、高橋泉さんが制した。閉会式で
は大会会長今野茂相馬市長から入賞
者に表彰状等が手渡された。

東北6県から愛好者集う 福島県で初の交流大会開催

福島県で初の交流大会開催

大会結果

- 【男子の部】
①山下要一（福島県相馬市）111 ②三澤善春（宮城県田尻町）112 ③田畑勝（青森県三戸町）112 ④石山文次郎（秋田県湯沢市）112 ⑤新田耕一（宮城県田尻町）113
- 【女子の部】
①高橋泉（岩手県久慈市）115 ②石垣節子（宮城県田尻町）115 ③松浦サツ子（宮城県田尻町）116 ④矢内久子（福島県白河市）119 ⑤中村和子（青森県八戸市）120

虎杖浜PGクラブでも

21世紀初謹賀新年初日の出大会

- 虎杖浜PGクラブ
平成13年1月1日
①佐藤幸治58 ②高木正60 ③前川泰夫60 ④野沢武夫61 ④菅原勝61 ④斉藤芳雄61

二千年グランドチャンピオン大会

- 虎杖浜PGクラブ
平成12年11月26日
①宮井宏之（岩見沢）108 ②牧野潤（登別）11
0 ③落合順一（登別）110 ④高木正（室蘭）11
3 ⑤松芳フミ子（白老）114
* 女性は36ホールでハンディ

置戸町パークゴルフ協会



90ホールを競うウルトラ大会の会場として有名な置戸町ではPG協회가平成3年設立してから昨年10周年を迎えた。製作された記念誌の中には、出来事、思い出を中心に10年間の記録が残されている。

パークゴルフのおもしろい話し
～ 記念誌から抜粋～

仕事に行き来すると、パーク場へ～夏の間は、毎日毎日パークゴルフ場へ通っている方たちも多いが、家を出るときは、必ず「仕事に行きます」と言う人がいる。定年を迎えた方たち（定年でない人もいるとか）の仕事という、やはりパークゴルフが仕事なのかなあ。パークのボッコ～ゲートボールではスティック。パークゴルフはクラブというのが正解であるが、パークゴルフ場での話。「このスティックは…」と言っていたHさん、パットもはずしてしまい、「このラケットは」と言いつつ、最後に言った言葉は「このボッコが悪くて入らなかった」とか。ついにボッコになってしまった。
あなたのまぢでも、こんな話ありそうですね

協会
だより



感謝状を受け取る有澤清美会長（右）

当別町パークゴルフ協会

北海道知事から感謝状

「社会を明るくする運動」に協力した同協会は、このほど北海道知事から感謝状が贈られた。昨年7月8日に札幌北地区保護司会主催で開かれた「第1回社明広報映画会とパークの集い」には札幌市北区などから約110人が参加。今年は五十回を記念して、交流を深めるためパークゴルフを取り入れられた。協会員はプログラム作成から、当日の指導までを行い、全くの初心者や家族連れも参加した集いに協力し、運動の推進に貢献したことでの表彰。



南国・沖縄県から

第2回サントピア沖縄全国大会



プレーオフを終え、健闘をたたえ合い握手を交わす野口さんと照屋さん

冬も快音、パークゴルフ満喫
北海道勢対地元沖縄県勢の熱戦

第2回サントピア沖縄全国パークゴルフ大会が平成12年12月2、3日の2日間、沖縄県沖繩観光コンベンションビューロー、沖縄県教育委員会、国頭村の主催で開催された。大会は両日とも36ホール、計72ホールのストロークプレーで行われ、今年から総合結果の他第1日目、第2日目それぞれ上位入賞者の表彰と入賞のチャンスが多くなるよう企画された。

参加者は総勢108人、北海道が30人が沖縄に乗り込んだ。大会は第1日目と第2日目と上位者が入れ替わる戦いとなり、女子ではプレーオフでの決着になった。特に、男性2人、女性3人が参加した北海道北見市勢は、大会2日前から沖縄入り、3年前から交流を深めているという国頭村PG協会との交流の場を設けた。その甲斐あってか、女子で優勝と3位入賞男子の部も3位に入りと実力を発揮した。沖縄ならではの琉球ガラス製優勝カップを手にした野口八重子さんは「大きい大会での優勝は初めて、本当にうれしい。パーク仲間みなさんのおかげです。」と喜びの表情を見せた。



一足早く沖縄入りした北見市からの参加者

大会結果
＜男子の部＞

優勝	小坂昌彦	帯広市	(北海道)	230
準優勝	伊良波幸勇	安田	(沖縄県)	231
3位	松浦龍夫	北見市	(北海道)	232
4位	太田栄枝	帯広市	(北海道)	235
5位	伊計忠	安田	(沖縄県)	236
6位	金城定淳	辺士名	(沖縄県)	238
7位	大津文夫	帯広市	(北海道)	238
8位	上地哲	安田	(沖縄県)	239
9位	古堅安英	安田	(沖縄県)	242
10位	松村信一	旭川市	(北海道)	243

＜女子の部＞

優勝	野口八重子	北見市	(北海道)	248
準優勝	照屋初枝	半地	(沖縄県)	248
3位	柴崎紀美子	北見市	(北海道)	253
4位	宮城朝子	与那	(沖縄県)	255
5位	知念順子	安田	(沖縄県)	256

大分県にもパークゴルフの仲間がいます

国東町では
公民館講座にパークゴルフ
受講者は 幅広い年齢層

大分県からパークゴルフの快音が聞こえてきました。県内唯一の国東町にある「くにさきパークゴルフ場」には町内のほか1時間もかけて、大分市や別府市、山香町などから愛好者グループが訪れ始めています。

2年前にPG場ができた頃は「パークゴルフ」というスポーツがまだ知られておらず、行入ダムを訪れた際、「これは何だ」と興味を持った人が始めるといったぐあいだったようです。しかし、昨年5月からは国東町の公民館講座に取り入れられたり、地元紙などマスコミで紹介されたり始め、ランドゴルフ愛好者がパークゴルフもかけもちでやっている様子です。講座では基本的なルールを学んだり、プレーを楽しむことに加え、パークゴルフの九州地方の先進県、熊本にも昨年11月に訪問し、パークゴルフで交流を深めました。これからも、講座を継続し、パークゴルフの普及につなげていくよう。

まだまだ一部の人とはいえ、大分県国東町でパークゴルフを楽しんでいる人は30代からと幅広い年齢層で、いまは組織作りに精力的。今後の愛好者の広がりがたのしみな地域です。



イラスト：曾我三千夫さん
(北海道杜戸町) から届いた年賀状より

県内唯一の
「くにさきパークゴルフ場」
(大分県国東町)



ダムのほりにあるコースでの大会風景

大分県

11月には交流大会 県内各地から参加者

『平成12年11月23日、行入ダム湖のほとりで第4回パークゴルフ大会が開催されました。町内外から50人が参加、2Rの36ホールで行われました。大分市、別府市からも多数参加、県内にパークゴルフの輪が少しずつ広がっています。優勝は山香町の土師さんスコアは120、2位は安岐町の吉本さんで121、3位も山香町の安部さんで122でした。優勝した土師さんはランドゴルフでも活躍しているそうです。』

でも、この難しいコースで初出場で初優勝はたいしたものです。万の岩、千の岩コースともに平坦なホールはなく、グリーン周りとはくにOBが出やすいのが特徴、今回はコースアドバイザーの田川さんが念入りに整備？しているのよけい難しかったそうです。

この大会の特徴はなんといっても景色以上に賞品がすばらしいことで、優勝から3位、BB賞、当日賞、飛賞もあり、3人に一人は何かもって帰りました。』

大分市在住 日高隆明さんからの報告

愛好者の声

くにさきPG場オープン当時から、パークゴルフを始め、コンペの企画運営にも携わっている平野金次郎さん

「家族や友人と一緒にプレイできるのが本当に楽しい。大分でもっとたくさんの人に浸透していけばいいなあ」



喜びの上位入賞者たち

夫婦いっしょに パークゴルフ

キャンプ日程 H12.7.28～8.10

フェリーで道内に入り、車で移動。キャンプ場を拠点にコースへ。下記のPG場は半日もしくは2日間もプレーを楽しんだという。
 ①置戸町拓殖PG場②幕別町サーモンコース③釧路太平洋炭砒PG場④釧路町パーク108 PG場⑤大樹町歴船川コース⑥浦幌PG場⑦幕別町「北海道オープン」観戦⑧千歳PG場⑨JTB PG場

●は、高橋さんご夫婦がプレーを楽しんだPG場やキャンプ場の市町村の場所



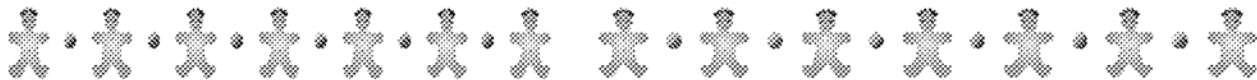
旅行中「北海道オープン」に訪れた高橋さん夫妻

「初めてパークゴルフをやったのはいつのことだったろう。」と昔の旅行日記をひも解いてみました。答えは、平成4年の夏の北海道旅行の日記に書かれていました。場所は平取町二風谷ファミリーランドPG場でプレーしたのがきっかけでした。まだ独身で、愛車にキャンプ用品を積んで北海道を走り回ってた頃の話です。「さあ、今日はどうしようかな。」と考えてたときに隣接しているパークゴルフ場が目に入り、**ちょっと遊んでみるかと始めたのが私のパークゴルフ人生の始まり**です。

ちょっと始めたばかりなら、岩手県の間がこんなにハマってしまうわけがないのですが、そこに第2の転機が訪れました。翌平成6年、**結婚をし妻と2人でプレーをするようになった**この年、何と私が住んでる久慈市に隣接してる大野村にパークゴルフのコースがあることが判明したのです。これにはずいぶんと感激。北海道に行かなければできないものと思っていたものが車で20分の所でプレーできるわけですから。今になって思うと偶然とはいえすごい巡り合わせだなあと思っています。そこで遊んでる時に松橋さん（岩手県支部現主任指導員）小向さん（大野村PG協会現事務局長）に「協会に入らないか」と誘われその年のうちに協会に入れていただきました。その後も、**大会にでたり、練習したり、旅行したりしてる中でいろいろな方々と出会い**現在に至っております。

こうして振り返ってみると、多くの人や出来事との出会いがまだまだあり、いろいろな方々に支えられていたことに改めて気づきます。パークゴルフによって得ることができた一生の財産だなあと同時に、大切にしていかなければならないものだなあと思っております。

高橋浩人さん記



パークゴルフの情報誌「IPGAニュース」 ここ大分県でも読まれています

「本場北海道でパークゴルフがしたくなった」

初めてみる本場の情報の数々に驚くばかりです。まず、ビックリしたのは大会結果のスコアです。36ホール98打（2000石川スポレク）、道内のその他の大会など、どれを見てもただ驚くばかりです。私が初めて経験した、昨年5月の小さな会ではなんとパーの132打を数え8位でした。その会でパークゴルフを知り、とりこになり、今では2時間ぐらいかけて熊本や大分の国東などに時たま出かけて楽しんでいます。

このニュースを手にして、今新たな計画で胸が躍っています。7月には幕別町へ出かけてパークゴルフを存分に楽しむことです。今は定年していますが、若い頃から勤めの関係で夏の休みに北海道へというのが定石で、信州とか内地旅行も時にはありますが、あの広大な大地を走るのが楽しみでした。単身の時はバイクで、二人の時は自動車舞鶴→（フェリー）小樽、それから北へ東へ気の向くまま走ったものです。滞在はいろんな都合で5日が限度で

した。ワイン城・ハナック・ベンチ、ホテル十勝川…。昨年は黒岳下山中、雪道に足を取られ妻が右目突き傷の負傷で、層雲峡から上川町の総合病院まえ往復したのを昨日のように思い出します。

（前列左が森永さん）
PG仲間と一緒に。



大分市在住
お便り住
いた森永
ただ正生
きました
さんから

IPGA ニュース

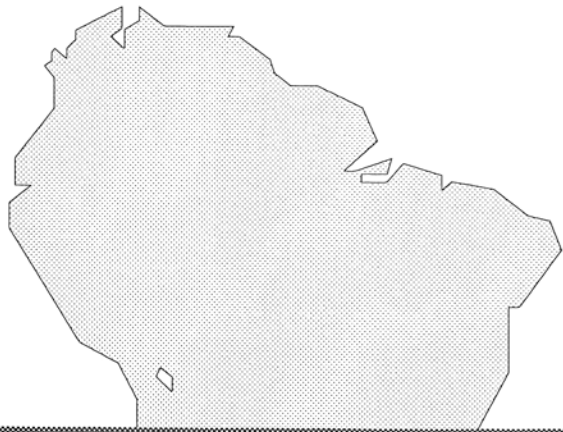
定期購読受付中

年間購読料（隔月刊・6冊）

1500円～郵送料込み～

申し込み方法は、FAXかハガキで〒住所、氏名

（ふりがな）電話番号を明記し、協会本部まで。



国境を越え南米交流大会

2000. 12. 10 初めての開催

ブラジルへパラグアイから交流

アルゼンチン人・チリー人の愛好者も

パークゴルフが人気が高まっている南米。各国で楽しんでいる愛好者が集まり、大会を初開催。ブラジルのグラッシオーザPG場オープン記念となった大会には一足早く普及したパラグアイ地区から30人を含めて77人が参加した。パラグアイ勢が男、女、個人賞など上位を占めた。大会終了後には焼き肉パーティーで交流を深めた。



一時帰国を機に、国際協会事務局を訪れた谷川さんご夫妻。ブラジルの日系人愛好者がPG場を描いた絵が国際協会に贈られた。

谷川悟さん・節子さんが報告

ブラジルでのパークゴルフ
すそ野広がる

ボランテニア活動で渡伯の谷川さんによると滞在するブラジルのロンドリーナ市には3コースがあり、市による現地の人向けのコース造りも予定されているという。他近隣国パラグアイでも常設コースが増え南米でのPGの定着ぶりがうかがわれる。

谷川さんはPG普及に賛同する日系人と一緒にコース造りや交流大会も手がけ、愛好者の広がりに貢献。前原理事長も歓談の中で、パークゴルフの定着に向け、国際協会としての協力を約束した。

～日系人だけでなく、現地の人もパークゴルフを楽しむ姿が見られるように～

Q & A ルールおしえて 質問コーナー

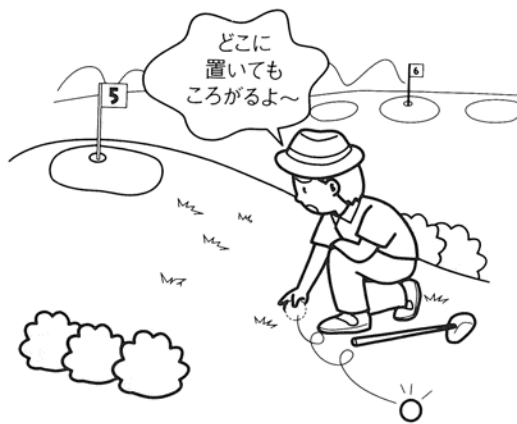
お寄せいただいた質問にお答えします



イラスト:事務局に届いた年賀状から

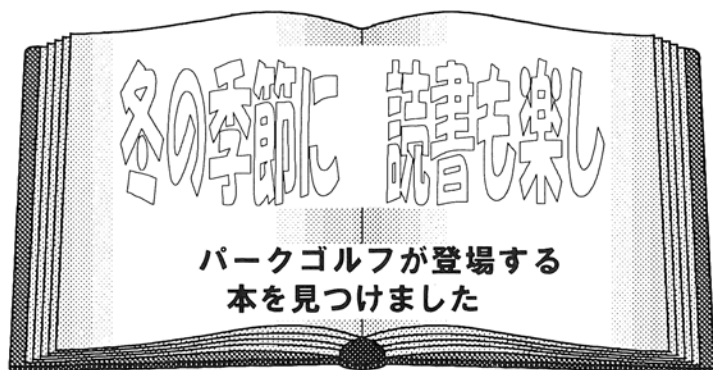
Q ボールをプレスしても、その位置に止まらない

A



ペナルティはありません。何度か置き直しても止まらない時は、カップに近づかないところで、ボールが止まる最短の位置にプレスしてプレーを続行します。

ボールを別の場所に置くこと



（同好会の仲間と一緒に
後列左端が斉藤さん）



パークゴルフを通して
織りなす人間模様を
描いた文芸書

「ポロシリのPGに咲く花」
著者 いなば 仁（帯広市在住）
発行 ㈱文芸社
定価 1000円（税別）



作者のいなば仁さん

著者のことば
スキッと愉快地に新分野のパークゴルフ（PG）
を、どうやってみんなに知らせようかと考えつ
つ思いついたのがPGスポーツ小説であった。
超おもしろくて健康になるPGがこれによって
一層普及されることを願って止まない。

自分史につづられた
パークゴルフで
広がる出会い

「二十一世紀への 夢と庭」
著者 斉藤百合子（札幌市在住）

定価2000円（税別）

☎011-853-6871
roasaito@horae.dti.ne.jp

著者のことば
この度「21世紀への夢と庭」を自費出版し
ました。内容は美容の仕事と天職として歩ん
だ自分史ですが、髪を大切にしたいと歩ん
自の育毛トリートメントの事や大学での経営
学、芝生の上を歩いてアッハッハと笑えるス
ポーツ、パークゴルフを通じて健康づくりや
人の輪を紹介しています。

パークゴルフとわたし



「三大会出場は得難い
宝物」と話す今富さん

福岡県豊前市にお住まいの今富元信さん
遠路はるばる国際大会・北海道オープン・

全日本選手権に出場

「三大会に出場して」

国際大会の出場が決定した瞬間、幕別町でプレーをし
ている自分を映して行っていました。前年9月にはじめて
発祥の地を見たくて行って行っていました。平素の練習で
も試合の時には行ってもつじ、サーモンコースを仮想し
ていました。明けて4月に協会になり、夢は現実に近い
きあとは公募を待つだけでした。満足のいくまで練習に
明け暮れる日々で一日ぐらい休んだらという妻や周囲の
声を無視して結局寝込んだこともありました。が北海道
への思いはいささかも衰えることはなくいよいよ燃えさ
かっていたのです。しかし、技術の方は皮肉にも比例し
ませんでした。

開会式に臨んでいる自分に酔っていました。ついにそ
の日が来たのだと、日頃の練習と2日間のN氏の指導の
お陰で総仕上げが順調に出来たことで平常心で臨むこと
が出来終了するまでの自分のペースを守りながら楽しく
他の方々と競い合うことが出来たのです。初体験でした
が大満足でした。北海道の温かい人情と広大な土地とP
Gの魅力が増していく感動と感謝が北海道オープンさら
に全日本選手権へと自然とむかわせたのではないでしょ
うか。三大会連続出場は他では得難い宝物であ
り大きな財産となりました。今後さらに技術を高めさら
に上を目指すとともに品格を錬磨する事を誓います。九
州のPGがお客さんではなく堂々と勝負できる日が来る
日を祈りながら、普及活動に微力を尽くしていきたいと
思います。



新規加盟団体

- 415 ミズノ株式会社 (岐阜県)
- 416 富津市PG協会 (千葉県)
- 417 有限会社 徳陽社 (千葉県)

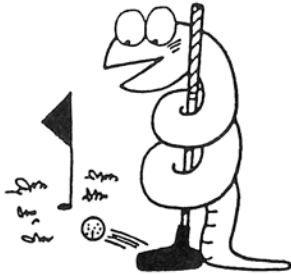


イラスト:砂川PG協会から届いた年賀状から

IPGAニュースへの
話題提供は、
郵便、FAXのほか
メールでも受付しております。

(NPO) 国際パークゴルフ協会の
メールアドレスは

parkgolf@netbeet.ne.jp



北海道

公認番号 127

函館市白石町
208番地

- ★ホール数 18H
- ★距離 921m
- ★利用料金 大人400円 子供200円
高齢者200円他キャンプ場宿泊者割引あり
- ★貸し用具 有(300円)
- ★利用時間 9:00～日没
- ★定休日 なし
- ★開設期間 4月～11月

☎ はこだてオートキャンプ場

Tel 0138-58-4880

P トイレハウス 自販機、売店



交通アクセス

湯川温泉街から国道 278 号線を恵山町方向へ車で約20分

エリアガイド

湯川温泉街へ車で約20分。函館空港へ車で約15分

白石パークゴルフ場

津軽海峡を望む丘陵地に、函館観光の拠点施設としてオープンした「白石公園」は、このコースで家族やグループでのプレー終了後は、キャンプも楽しめます。

おことわり

平成12年度公認されたコースは、新規・増設を合わせて21コースでした。公認番号119～133・35(増設)はIPGAニュース29号に、公認番号134～137・33(増設)は30号にすでに掲載されています。今回は未掲載1コースの紹介となっています。



編・集・後・記

新しい世紀を飾るIPGAニュース31号は、思い切って表紙をカラーに。また2、3頁の背景には前原理事長の描いた幕別町郊外の田園風景の絵を使わせていただき、誌面のイラストに国際協会に届いた年賀状から拝借したものを載せています。

IPGAニュースの誌面づくりに皆さんも参加してみませんか。投稿、ご意見、イラスト、写真などご気軽にお寄せ下さい。



発行(NPO)国際パークゴルフ協会
定価 1部100円

募集や問い合わせのあて先は

〒089-0604

北海道中川郡幕別町錦町66-2

TEL 0155-54-2260

FAX 0155-54-2204

(NPO) 国際パークゴルフ協会まで